

北総鉄道の増益額 + (-) 10億円

値下げ財源不足額 6億円

北総鉄道の経営効率化 2億円

本来、間接費用は規模の経済が働くものの、この試算では直接経費同様に車両キロ比例として計算している。

そのため、別途規模の経済分として2億円を推定。

値下げによる旅客増加による効果 2億円

北総鉄道の旅客の運賃弾力性を0.13(後述)と極小さい値を想定して推計

京成電鉄の追加負担

北総1種区間内の(全通過旅客数に対する)負担の限界を平均350円*と仮定 32億円 …

京成電鉄の北総1種区間の運行費用(高速化工事関連を除く)

経費 11億円 (車両保存費 + 運転費* 115円 / 車キロ)

資本費 5億円 *動力費などを除く

間接費 1億円

合計 17億円 ……………

- (+) = 2億円

* 実収単価(1人1キロ当たり平均運賃額) × キロ呈、現行の北総鉄道の平均賃率では527円